

## OJT と e ラーニングの切り分け表

製造業の新人教育における役割分担の考え方

教育項目	主な担当	推奨方法	理由	実施イメージ	対象 e ラーニング
コンプライアンス	e ラーニング中心	e ラーニング	全員に同じ内容を伝えるべきため	入社初期に必修化	製造業はじめの一步
会社独自のルール	現場	座学	全員に同じ内容を伝えるべきため	入社初期に必修化	
安全教育の基礎	e ラーニング +現場	併用	基本ルールは標準化、現場固有ルールは現地確認が必要	動画学習+現場巡回	製造業はじめの一步
製品ができるまでの流れ	e ラーニング +現場	併用	全体像は教材で、実感は現場で得るべきため	動画+工場見学	製造業はじめの一步
図面の読み方・描き方	e ラーニング中心	e ラーニング	JIS や投影法は標準化しやすい	講座+小テスト	機械製図超入門講座
幾何公差・寸法記入	e ラーニング中心	e ラーニング	教える人によるブレを減らしたい領域	反復学習+図面確認	機械製図超入門講座 幾何公差入門講座
機械要素の基礎	e ラーニング中心	e ラーニング	基本知識は共通化できる	ねじ、軸受、歯車等を学習	機械要素入門講座 -メカトロ編 -モーター編
材料の基礎	e ラーニング中心	e ラーニング	種類・特徴は体系的に学ぶべき	教材+現物確認	機械材料入門講座
加工法の基礎	e ラーニング +現場	併用	原理は教材、制約の実感は現場が必要	切削動画+加工現場確認	機械材料入門講座 切削部品設計入門講座 板金部品設計入門講座 樹脂部品設計入門講座
4力の基礎	e ラーニング中心	e ラーニング	理論は個人差なく学べるようにしたい	材力・機力・熱・流体の基礎	強度設計入門講座 構造強度設計入門講座 機械力学入門講座 -振動編 熱力学入門講座 流体力学入門講座 伝熱工学入門講座
CAD 操作の基本	e ラーニング中心	e ラーニング	基本操作は教材化しやすい	操作動画+演習	

自社 CAD 運用ルール	OJT 中心	OJT	自社の命名規則やデータ運用は社内実務に依存する	実ファイルを使って指導	
設計のやり方	e ラーニング +現場	e ラーニング	基礎は教材、実践は現場実習が必要	構想設計から詳細設計までの流れを体感	即戦力エンジニア養成 構想設計入門講座
自社製品の設計思想	OJT 中心	OJT	自社固有の判断基準は現場で伝えるべき	過去事例を用いた指導	
コスト感覚	OJT 中心	OJT	自社の原価構造・商流に依存するため	見積り事例で指導	構想設計入門講座
加工しやすさ・組立しやすさ	OJT 中心	OJT	現場との対話でしか学べないため	図面レビュー+現場同行	構想設計入門講座
設計意図の伝え方	OJT 中心	OJT	コミュニケーションは実務で鍛える必要がある	打合せ同席	
検図対応	OJT 中心	OJT	思考プロセスの言語化が重要なため	赤入れ理由を説明させる	
小規模な図面修正	OJT 中心	OJT	実務の中で成功体験を積ませるべき	1箇所修正から開始	
不具合・手戻りの振り返り	e ラーニング +OJT	併用	起きた問題を教材に戻して理解を深めるため	実務事例→教材見直し	構想設計入門講座
後工程との連携	OJT 中心	OJT	現場との関係づくりが必要なため	加工・組立担当との対話	
フロントローディング思考	OJT 中心	OJT	後工程の苦勞を設計に反映する力は実務で育つ	構想段階レビュー	即戦力エンジニア養成 構想設計入門講座
研修後の復習	e ラーニング +OJT	併用	知識の定着には見返しと実務接続の両方が必要	週次振り返り	各講座の演習問題と 理解度確認テスト
疑問整理・質問習慣	OJT 中心	OJT	心理的安全性と対話設計が必要なため	疑問ログ運用	
学習進捗の確認	e ラーニング中心	e ラーニング	システムで把握しやすい	管理画面で確認	各講座に標準装備
独り立ち判定	OJT 中心	OJT	実務での判断・応答力を見て判断すべき	検図修正率・提案力を確認	